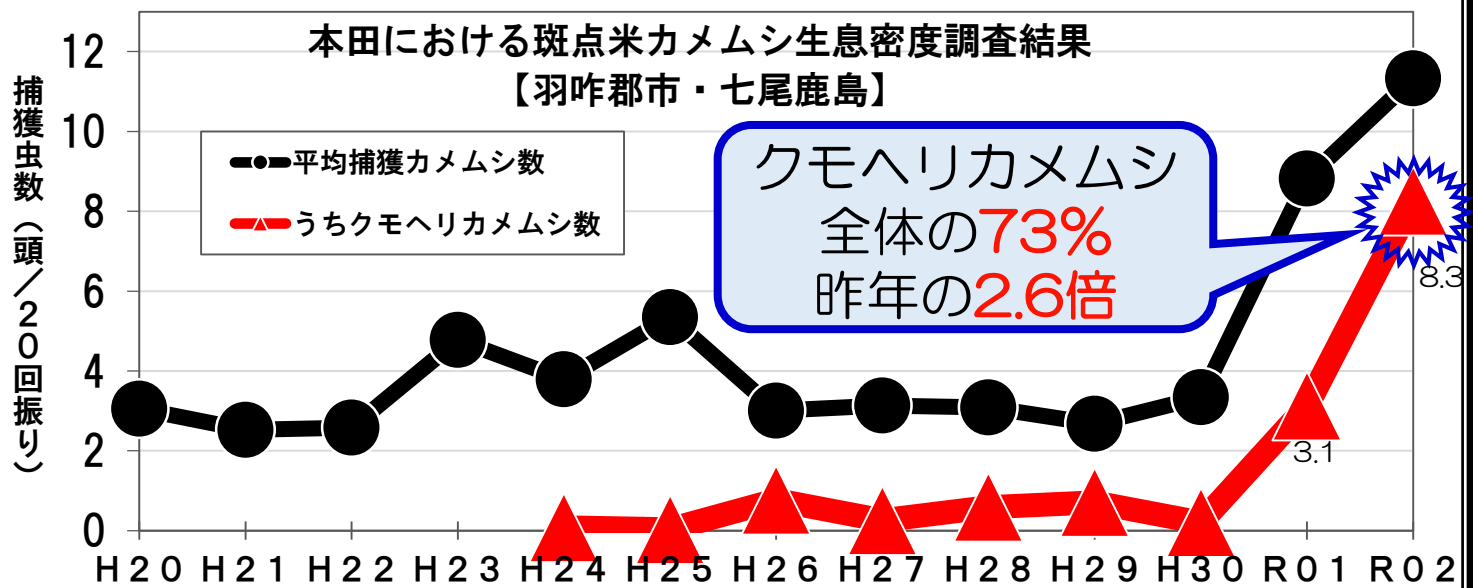


クモヘリカメムシ 異常発生



緊急

防除は①出穂直前・②出穂7日後・③14日後の3回実施



3回防除を徹底!

●個人防除の場合（粉剤の場合）

【防除1回目】出穂直前	トレバリダビーム粉剤DL	2成分
【防除2回目】出穂 7~10日後	ラブサイドキラップ粉剤DL	2成分
【防除3回目】出穂 14~17日後	キラップ粉剤DL	1成分

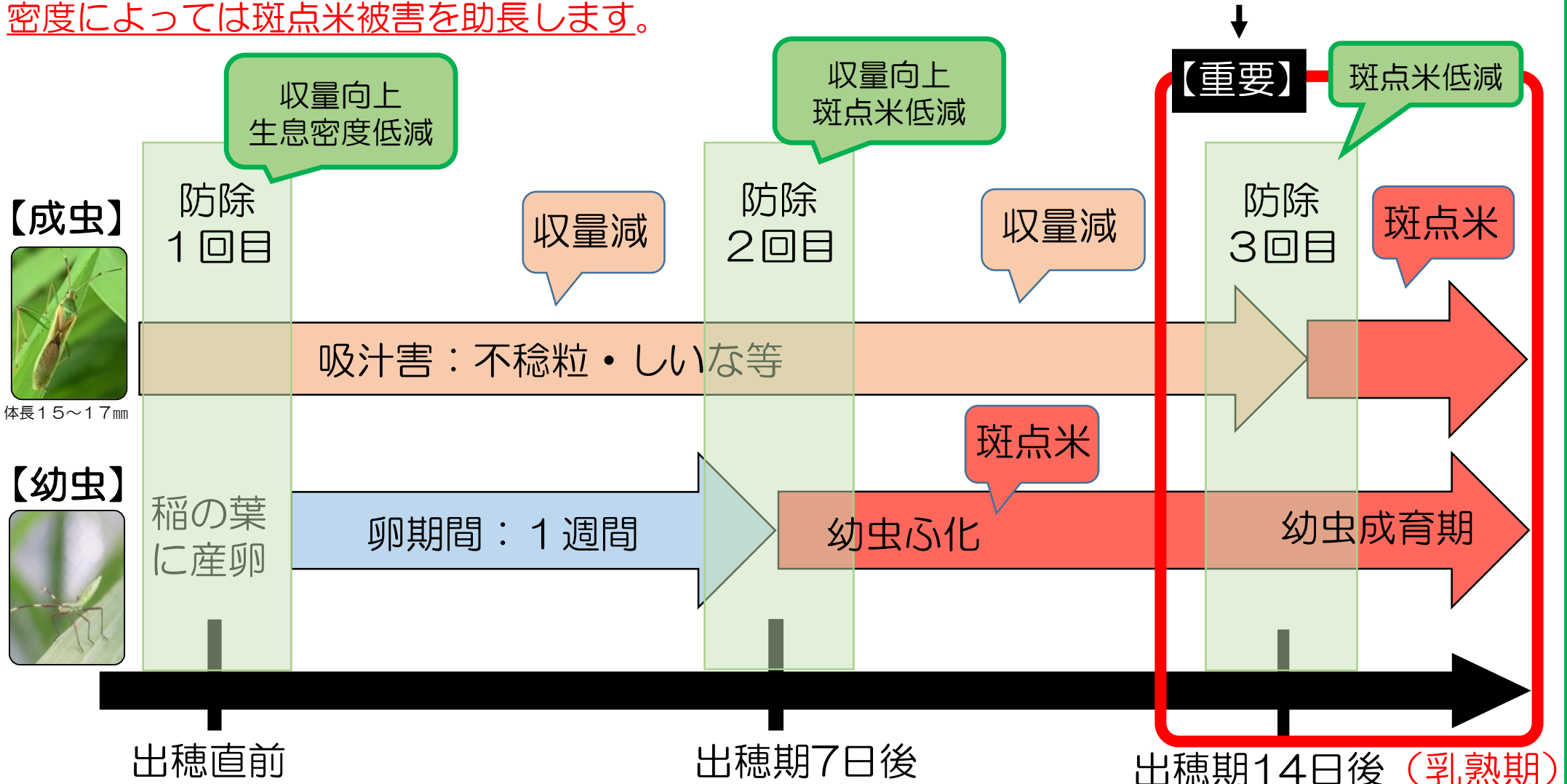
●無人ヘリ防除の場合

※キラップ剤に含まれる成分（エチプロール）の総使用回数は2回まで

無人ヘリ	【防除1回目】出穂直前	ビームエイトトレボンゾル + バリダシンエアー	2成分
	【防除2回目】出穂 7~10日後	キラップフロアブル	1成分
個人防除	【防除3回目】出穂 14~17日後 又は	① 粉) キラップ粉剤DL	1成分
	【防除3回目】出穂 14~17日後 又は	② 液) キラップフロアブル	1成分
	【防除3回目】出穂 12~15日後	③ 粒) キラップ粒剤	1成分

クモヘリカメムシの生態とコメへの影響

クモヘリカメムシの成虫は、出穂後水田に侵入し、食害と産卵を並行して行います。成虫は、吸引力が強く、出穂14日後（乳熟期）までは不稔粒等を発生させ、**減収**につながります。幼虫は、産卵後7日後にふ化し、食害を開始し始め、**特に乳熟期以降は幼虫の成育期となるので、密度によっては斑点米被害を助長します。**



※ 乳熟期等を含め、出穂後日数はあくまで目安です